

八月二日

要請文書業中ハ、成工、國粹會員相達モ、同月平野一耕株主事ニ
調停會合ミ營ぐ、調停團ハ、二日午前十時、國粹派新田山口當美酒氏

國粹會派新田精見外山頭次酒

大正八年

洋制錠入文書テ。

中

大正十三年六月二日

國粹會丹波、越山類太初

越王ハ、廟普共ニ、御辭ミ、守り、薄潤解ニ、ニ、舞夷モ、水準

我ニ、銀賃金不之モ、國粹會ヨリ、金四千圓、御筆難別ニ、寄附スル

予狀ハ、大井之頭而日ニ、類業スル御ヘ奉スニ、剪出スル事

財團法人協調會大阪支所

解決案ノ内容ハ、絶對ニ公開ヲ嚴守スペク約束シタニモ拘ラズ、三日
市公會堂ニ於ケル紀州織布糾彈演說會ノ席上、テ、爭議團應援團長ノ
山口常次郎ガ、嚴守スベキ該解決案ノ具體的內容ヲ報告演說トシテ
公開シタルニヨリ、國粹會員ハ、紳士約協約ヲ破棄シタト大ニ激昂シ
翌四日、爭議團幹部山口常次郎外十七名ヲ、元寺町ノ龜屋旅館ニ呼寄
セ、男ト男ノ約定ヲ裏切ル上ニ於テハ、國粹會ノ盡力シタ調定案ヲ全
部取消シ、猶爭議中ノ費用トシテ、後リタル金一封（一千圓）ヲ直チ
ニ返却セヨト強硬ニ出タノデ、爭議團幹部ハ、直チニ謝罪シタルモ、國粹
會員ハ、此ノ謝罪ヲ拒絶シタル爲争議團幹部ハ、一時其場ヲ引揚ゲ和
歌山岡町水平社青年副會長筒井貞三（和歌山勞働合同組合員）ト
相談シタル處、筒井ハ、水平社ノ道浦若八、高橋喜應等ヲシテ、四日午
后七時頃、元寺町佐々木龜太郎（國粹會員）ヲ訪問セシメ種々山口
常次郎ノ失言ヲ陳謝シタル結果、國粹會側ニ於テモ、其意ヲ諒トシテ
兩氏ノ希望ヲ入レ漸ク解決シタ。